

導入検討

STEP-0 ビーコンの理解

- STEP1が難しい方は、専用アプリ付きのEXタイプでご評価ください。
- ビーコンは利用環境によって大きく性能が変わります。
- 障害物、電磁波、受信機、水分によりバラツキがあり5m程度しか感知できない事があります。
- 本HP内の「ビーコンとは」も一読ください。
- ここでは、移動：ビーコン 固定：受信機 としてご提案しております。

STEP-1 有効性の確認

所要期間	1週間程度
ハイビーコン機種	BAタイプ
ビーコン数	1個程度
受信機数	数台 AndroidまたはiPhone
ソフトウェア	Android版 「iBeacon Detector」 「Beacon Scanner」 「nRF Connect」 iPhone版 「Beacon Scanner」 「Beacon Scan」
手順	確認作業は各自で行っていただきます。 ・ビーコンと受信機（スマホ）の位置や高さを変えてお試しく下さい。 ・RSSIと距離の目安は https://www.hibeacon.jp/beacon/#link13 を参考にしてください。 ・受信性能はスマホにより大きく変化します。複数の受信機でもお試しく下さい。
考察	期待する受信距離が達成できるか。バラツキは許容範囲か。 利用の可否
費用	法人様1個限定のサンプル価格で提供させていただきます。お問い合わせください。

STEP-2 トライアル 実証実験

実験期間	1～3ヶ月程度
ハイビーコン機種	BAタイプ
ビーコン数	3～10個程度 実運用の1/10以下で構いません。
受信機数	2台程度 Android または RaspberryPi ※要LTE回線 or LAN回線
ソフトウェア	受信機：「HibeaconZone」 クラウド：「ハイビーコン・ライブシステム」
手順	・導入に向け実環境で要求するデータが取得できるか？ ・実運用時に問題となることは？
費用	・ビーコンと受信機は特別価格でご提供いたします。 ・通信費はご負担ください。 ・必要ソフトウェアは期間中は無償でご利用いただけます。

STEP-3 実稼働に向けて開発

開発期間	3ヶ月程度
ハイビーコン機種	BAタイプ
ビーコン数	1サーバあたり 30～1,000個程度 ※数量により独自機種も開発可能
受信機数	トライアル結果より回線種類と必要台数をご提案
ソフトウェア	受信機：「HibeaconZone」 クラウド：「ハイビーコン・ライブシステム」
手順	・トライアル結果の分析 ・ソフトウェアのカスタマイズの有無 ・ネットワークや電源、サーバ設置工事に関する計画 ・保守の体制
費用	・基本的に「ハイビーコン・ライブシステム」をベースシステムとします。 ・カスタマイズ、工事、保守などの費用を算出します。